

ONE FOR ALL, ALL FOR ONE

ベースボールマガジン

9

SEP. 2003
No. 372



No changes, No gains.

特集 ◆ W杯日本代表スコッド決定

INTERVIEW

向井昭吾監督
小野澤宏時[WTB]
広瀬佳司[SO]

MATCH REPORT

イングランド戦
[壮行試合]
に完敗

JAPAN RUGBY
TOP LEAGUE
PREVIEW

開幕戦に期す
早野貴大[サントリー]
増保輝則[神戸製鋼]

特別 820円
定価 1100円
ベースボールマガジン社
<http://www.bbm-japan.com>



Beach Boys



Germs



兵大Heart Beat



POPCORN



JOLIES



ビーチフラッグ大会決勝戦、驚愕?!



リンダ選手、左右に相手を揺さぶりスペースを見つけ、その後フロントパスからのダメ押しタッチインを導く
キッズチームも一段とたくましくなっていた



MVP今里選手のダイナミックな走り

プレートーナメント		カップトーナメント	
11	POPCORN	7	3
18	マジックマッシュ	8	4
0	大阪スーパーモンキーズ	8	11
7	兵大Heart Beat	10	4
3	Cheers! 交野	0	11
0	Germs	7	14
0	CABE-II AREX	4	3
8	梅干アルファ	0	17
15	摂南 B	0	4
0	Bears	16	11
0	Maccos	15	3
6	摂南 A	3	17
0	ハバナクラブ	17	0
0	ドルフィンズ	0	7
16	Beach Boys	8	12
10	クララとハイジ	4	

レディーストーナメント	
0	梅
18	兵大cheers☆
11	JOLIES
7	白浜中女子部



MVP今里選手のダイナミックな走り

ルを見せ会場を沸かせた。大会形式が変わっても選手を迎える真つ白な砂浜は変わらない。初日は雨にたたられるも2日目は快晴。決勝は、ここ数年台頭してきた現役東大生サークルのビーチボーイズが、ジャムスを破り初優勝を飾った。大会の2日開催が実現、和太鼓演奏など各種催しも充実の白浜だが、これも地元実行委員会あってこそ。まだまだ発展する白浜に期待したい。

Beach Boys、念願の初優勝!

BEACH FOOTBALL

JAPAN SERIES 2003

正式種目に昇格の「レディーストーナメント」、初代女王はJOLIESに。

SERIES 第2戦

第8回 南紀白浜大会

6月28、29日 / 白良浜海水浴場



今里選手の先制タッチイン。タッチはわずかに及ばず



空飛ぶ兵大チーム



相手をかわすこのバネがビーチボーイズの強み

今年で8回目を迎えた南紀白浜大会。開幕戦は沖繩に譲る形となったが、新企画満載でよりスケールアップした大会となった。まず、これまで1日のみの開催だった大会を2日間に。これは「もっと試合がしたい」という参加者の声に応じて実現したもの。初日は4チームに分かれてリーグ戦を行い、2日目に各リーグの同順位ごとにトーナメントを行う方式に変えた。このことで、「負ければ2試合」が最低でも5試合に。「これで白浜大会のレベルが上がってくれば」とIBFA若狭専務理事も期待を寄せる。また、昨シーズンまでエキシビジョンマッチとして行われていたレディーストーナメントが正式種目となり、平塚での全国大会の予選も兼ねるようになった。これで女子選手も俄然やる気に。今大会は気迫のジョリーズがトーナメントを制し、全国大会へ初名乗りを上げた。キッズも充実している。今季は5年生、6年生のトーナメントをそれぞれ行い、6チームが参加して行われた。こちらは「将来のビーチの星」の養成が目的だが、出場のキッズたちはどこ吹く風。大人顔負けのスキルを見せ会場を沸かせた。大会形式が変わっても選手を迎える真つ白な砂浜は変わらない。初日は雨にたたられるも2日目は快晴。決勝は、ここ数年台頭してきた現役東大生サークルのビーチボーイズが、ジャムスを破り初優勝を飾った。大会の2日開催が実現、和太鼓演奏など各種催しも充実の白浜だが、これも地元実行委員会あってこそ。まだまだ発展する白浜に期待したい。



この執念がジョリーズの強さ